

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 キング

コード番号 8118 URL <http://www.king-group.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田 幸雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理部門管掌 (氏名) 石井 修二

TEL 06-6368-7802

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	7,548	△18.6	383	10.7	518	0.5	286	0.4
21年3月期第2四半期	9,269	—	346	—	516	—	285	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	13.01	—
21年3月期第2四半期	12.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	20,848	17,590	84.4	797.60
21年3月期	21,860	17,440	79.8	790.79

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 17,590百万円 21年3月期 17,440百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	△18.3	790	6.7	1,000	△6.8	470	△1.1	21.31

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 有

[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	24,771,561株	21年3月期	24,771,561株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	2,716,814株	21年3月期	2,286,327株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	22,054,804株	21年3月期第2四半期	22,486,137株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成21年5月15日に公表いたしました連結業績予想は、本資料において修正しております。
- 資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記業績予想の具体的修正内容は本日別途開示致します「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年からの金融市場の混乱は収束に向かいましたものの、実体経済は依然として低迷が続き、雇用環境や所得環境の改善が見られないままに、個人消費が一段と減速するなど、景気は低調に推移いたしました。

ファッション業界におきましても、消費者の生活防衛意識の高まりによる低価格志向や消費動向の変化がより鮮明になるなど、厳しい経営環境が続きました。

このような環境のもと当社グループでは、「効率性の高い事業への経営資源の集中」、「他社と明確に差別化できる独自性の追求」を基本方針として、アパレル及びファッショングッズ部門におきましては、不採算ショップの廃止を進めると同時に、新規ショップの開発や店頭活性化マニュアルによるセミナーを実施するなど、店頭運営力強化のための施策も実施してまいりました。

一方、テキスタイル部門では、「プリントのプロ集団」であることが事業の基軸であることを基本に、得意先にとって不可欠な仕入先と感じていただける実力と存在感を示せるテキスタイルコンバーターを目指し、意匠企画力の向上による高感度・高品質商品の提供を行うと共に、既存得意先の深耕化や新規得意先の開拓にも注力いたしました。また、グループとしては、より一層の生産コストの合理化や経費の節減に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は75億48百万円、経常利益は5億18百万円、四半期純利益は2億86百万円となりました。

事業部門別売上高は以下のとおりであります。

事業部門別売上高

(単位：百万円)

区 分	前第2四半期 連結累計期間 自平成20年4月1日 至平成20年9月30日		当第2四半期 連結累計期間 自平成21年4月1日 至平成21年9月30日		増 減		前連結会計年度 自平成20年4月1日 至平成21年3月31日	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
		%		%		%		%
ア パ レ ル	7,130	76.9	6,072	80.4	△1,058	△14.8	14,472	76.3
テ キ ス タ イ ル	1,361	14.7	761	10.1	△599	△44.0	2,857	15.1
フ ァ ッ シ ョ ン グ ュ ズ	762	8.2	698	9.3	△63	△8.3	1,602	8.4
そ の 他	15	0.2	15	0.2	△0	△2.1	42	0.2
合 計	9,269	100.0	7,548	100.0	△1,721	△18.6	18,975	100.0

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は208億48百万円となり、前連結会計年度末比10億12百万円の減少となりました。

また、純資産は175億90百万円となり、前連結会計年度末比1億50百万円の増加となり、自己資本比率は84.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは1億56百万円増加いたしました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上と売上債権の減少による資金の増加と仕入債務の減少による資金の減少によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは2億83百万円増加いたしました。これは主に、定期預金の払戻による収入によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは1億79百万円減少いたしました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

これらの結果、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2億61百万円増加し、72億81百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の通期の連結業績予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

1. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

2. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境や一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングに当該影響を加味して算出したものを利用する方法によっております。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更

該当事項はありません。

② ①以外の変更

[表示方法の変更]

(四半期連結損益計算書関係)

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

前第2四半期連結累計期間において、営業費用の「その他」に含めておりました「賃貸費用」は、当第2四半期連結累計期間では区分掲記しております。なお、前第2四半期連結累計期間の「その他」に含まれる「賃貸費用」は23百万円であります。

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

前第2四半期連結会計期間において、営業費用の「その他」に含めておりました「賃貸費用」は、当第2四半期連結会計期間では区分掲記しております。なお、前第2四半期連結会計期間の「その他」に含まれる「賃貸費用」は10百万円であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,351	7,290
受取手形及び売掛金	2,023	2,530
商品	2,521	2,610
原材料及び貯蔵品	43	50
繰延税金資産	179	253
その他	249	312
貸倒引当金	△103	△113
流動資産合計	12,266	12,932
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,189	2,287
土地	3,649	3,649
その他(純額)	440	465
有形固定資産合計	6,279	6,402
無形固定資産	76	80
投資その他の資産		
投資有価証券	1,132	1,064
長期貸付金	33	44
繰延税金資産	190	221
差入保証金	787	823
その他	217	414
貸倒引当金	△135	△121
投資その他の資産合計	2,226	2,445
固定資産合計	8,582	8,927
資産合計	20,848	21,860

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,142	1,804
短期借入金	380	380
未払法人税等	140	240
賞与引当金	239	373
役員賞与引当金	6	12
返品調整引当金	17	22
その他	538	782
流動負債合計	2,464	3,615
固定負債		
長期借入金	70	70
退職給付引当金	341	360
長期未払金	231	236
その他	149	138
固定負債合計	793	804
負債合計	3,257	4,420
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,346	2,346
資本剰余金	8,127	8,127
利益剰余金	7,759	7,649
自己株式	△744	△744
株主資本合計	17,488	17,378
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	102	62
評価・換算差額等合計	102	62
純資産合計	17,590	17,440
負債純資産合計	20,848	21,860

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	9,269	7,548
売上原価	4,542	3,603
売上総利益	4,727	3,944
販売費及び一般管理費	4,381	3,561
営業利益	346	383
営業外収益		
受取利息	25	26
受取配当金	20	18
受取地代家賃	91	90
その他	63	36
営業外収益合計	200	172
営業外費用		
支払利息	3	2
貸貸費用	—	22
その他	27	11
営業外費用合計	30	36
経常利益	516	518
特別利益		
固定資産売却益	4	1
貸倒引当金戻入額	2	12
特別利益合計	6	13
特別損失		
固定資産除却損	42	39
特別損失合計	42	39
税金等調整前四半期純利益	480	492
法人税、住民税及び事業税	133	128
法人税等調整額	61	76
法人税等合計	194	205
四半期純利益	285	286

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	5,164	4,198
売上原価	2,745	2,099
売上総利益	2,418	2,098
販売費及び一般管理費	2,202	1,746
営業利益	215	352
営業外収益		
受取利息	13	12
受取配当金	0	0
受取地代家賃	35	45
その他	32	20
営業外収益合計	81	79
営業外費用		
支払利息	2	1
貸貸費用	—	10
その他	13	2
営業外費用合計	15	14
経常利益	281	416
特別利益		
固定資産売却益	—	1
貸倒引当金戻入額	—	2
特別利益合計	—	3
特別損失		
固定資産除却損	41	35
特別損失合計	41	35
税金等調整前四半期純利益	240	384
法人税、住民税及び事業税	81	120
法人税等調整額	9	44
法人税等合計	91	165
四半期純利益	148	219

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	480	492
減価償却費	273	207
その他の償却額	19	18
貸倒引当金の増減額(△は減少)	72	3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△97	△133
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△7	△6
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△12	△5
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△11	△18
受取利息及び受取配当金	△45	△44
支払利息	3	2
固定資産売却損益(△は益)	△4	△1
固定資産除却損	42	39
売上債権の増減額(△は増加)	59	487
たな卸資産の増減額(△は増加)	△104	96
仕入債務の増減額(△は減少)	△407	△662
その他	△188	△150
小計	72	326
利息及び配当金の受取額	46	46
利息の支払額	△2	△2
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△99	△213
営業活動によるキャッシュ・フロー	16	156
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△570	△70
定期預金の払戻による収入	70	470
有形固定資産の取得による支出	△198	△91
有形固定資産の売却による収入	7	3
無形固定資産の取得による支出	—	△47
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
貸付けによる支出	△16	△6
貸付金の回収による収入	27	15
差入保証金の差入による支出	△36	△33
差入保証金の回収による収入	31	59
その他	△21	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△707	283
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	—	△3
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△247	△176
財務活動によるキャッシュ・フロー	△247	△179
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△939	261
現金及び現金同等物の期首残高	6,337	7,020
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,397	7,281

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める衣料品等繊維品事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める衣料品等繊維品事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

在外連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

在外連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。